

「新潟県汚水処理施設整備構想」が3月、県から公表されました。

この構想では、冒頭で「見直しに当たっては、……地域の実情に応じ、下水道や合併処理浄化槽など各種汚水処理施設の経済比較も考慮して、地域にとって最適な汚水処理施設の整備手法の選定を行いました。具体的には、人口減少が進んでいる区域は、下水道等の区域の縮小も含め、計画を見直し、集合処理から個別処理に変更します。」と見直しの基本的方向を示した上で、見直しの結果や今後の課題と取組などについて具体的に提示しています。

この構想は50数ページ、参考資料等を入れると80ページにも及びます。県ホームページ「建設・まちづくり」新潟県汚水処理施設整備構想 (<http://www.pref.niigata.lg.jp/gesuido/1299445283251.html>) からご覧になれます。

ここでは県HPに掲載された「構想」の概要を次のとおり掲載することといたしました。

## 新潟県汚水処理施設整備構想

新潟県汚水処理施設整備構想を策定しました。

2011年3月28日

### 1 新潟県汚水処理施設整備構想の概要

本構想は、県下全域の汚水処理施設の整備を効率的かつ効果的に実施していくため、整備区域、整備手法、整備目標等を定めた汚水処理施設整備の総合的な計画です。

新潟県では、平成2年度に「新潟県下水道整備長期構想」を、平成12年度には下水道に加え、その他の汚水処理施設も含めた「新潟県下水道等汚水処理施設整備長期構想」を策定し、計画的に整備を進めてきました。

しかし、社会情勢が大きく変化したことから、従来の計画では地域の実情に合わなくなってきたため、住民ニーズ、将来人口、施設の整備状況等の地域の実情を踏まえ、新たな整備目標をとりまとめました。

今後は、新構想に基づいて計画的に整備を進めます。

### 2 見直しのポイント

#### 社会情勢の変化

- ・人口減少、少子高齢化の進展
- ・財政的な制約
- ・市町村合併の進展

#### 地域の実情

- ・住民ニーズ
- ・将来人口の動向
- ・施設の整備状況

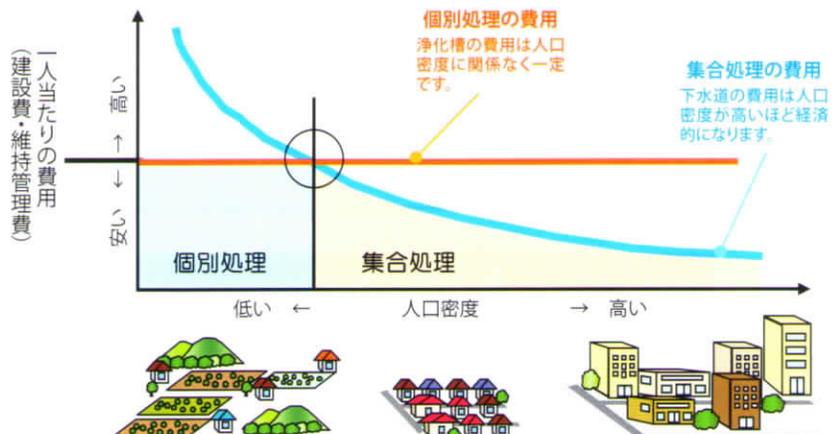
#### 汚水処理施設の特徴

- ・建設費と維持管理費を考慮した経済性
- ・人口規模と密度

これらを踏まえ、見直し

- ・平成30年度末までに着実な整備が見込める区域の明確化
- ・地域にとって最適な汚水処理施設整備手法の選定

図 集合処理と個別処理にかかる費用（「構想」P8抜粋掲載）



家と家が離れている地域では、浄化槽の方が経済的です。

家が密集している地域では、下水道の方が経済的です。

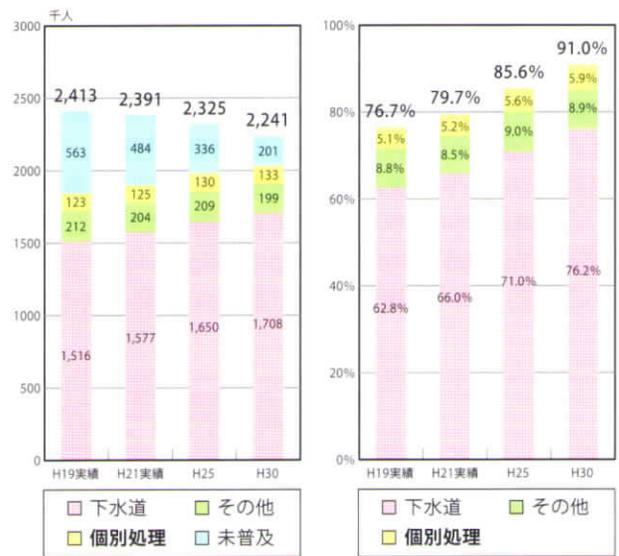
## 3 汚水処理の整備目標

### ■ (1) 事業種別内訳

(平成30年度末)

種別	項目	箇所数 (箇所)	整備面積 (ha)	事業費 (百万円)	処理人口 (人)	普及率 (%)
集合処理	公共下水道	29	21,663	1,171,219	826,140	36.9
	流域関連公共下水道	15	19,113	667,102	660,399	29.5
	特定環境保全公共下水道	67	7,141	342,051	155,859	7.0
	流域関連特定環境保全公共下水道	9	3,009	88,590	65,722	2.9
	下水道計	120	50,926	2,268,962	1,708,120	76.2
	農業集落排水	242	12,438	345,646	187,051	8.3
	漁業・林業集落排水	14	183	9,271	3,147	0.1
	コミュニティー・プラント、その他	13	271	6,385	9,269	0.4
	その他計	269	12,891	361,302	199,467	8.9
	集合処理計	389	63,817	2,630,264	1,907,587	85.1
個別処理	合併処理浄化槽			18,252	133,196	5.9
新潟県計		389	63,817	2,648,516	2,040,783	91.0
未普及					200,677	9.0
行政人口					2,241,460	

### ■ (2) 汚水処理人口及び普及率の推移



## 4 今後の汚水処理施設整備の推進に向けた取組

### ■ (1) 県民への情報提供及び普及啓発

環境や汚水処理施設の役割、効果についての理解を深めるため、県民への積極的な情報提供や普及啓発に取り組みます。

また、水環境の保全と投資効果の早期発現のため、汚水処理施設整備の推進や接続促進への県民の協力が得られるように努めます。

### ■ (3) 連携による整備の促進

複数の汚水処理施設の共同化や集合処理区域の統合等により、各汚水処理事業間での連携を強化し、より一層、計画的・効率的な整備を進めます。

### ■ (5) 地域特性を踏まえた整備

社会情勢の変化に柔軟に対応するため、住民ニーズや将来の人口動態、施設の整備状況などを見極めたうえで、今後も必要に応じて地域特性を踏まえた整備手法に見直していきます。

### ■ (2) 住民参加による汚水処理施設整備の推進

計画段階での住民ニーズの把握や、事業実施段階での情報提供に積極的に取り組み、汚水処理施設の整備に住民の意見が反映されるよう努めます。

### ■ (4) 重点的な整備の推進

住民要望の高い地区や確実に接続が見込まれる地区など、平成30年度までに優先的に投資する区域を設定し、重点的に整備します。

## 5 所管事業及び連絡先

事業名	担当課	担当係
下水道事業	下水道課	流域下水道係 公共下水道係
農業集落排水事業	農村環境課	集落排水係
漁業集落排水事業	漁港課	計画係
林業集落排水事業	林政課	林道係
コミュニティー・プラント、合併処理浄化槽	廃棄物対策課	資源循環推進係